

第2次小城市総合計画 基本構想

小城市の概況

位置と地勢

- ・佐賀県中央部に位置する
- ・北部は天山山系の山々、中央部は佐賀平野が広がる
- ・南部はクリーク地帯が縦横に広がり、有明海に面する
- ・気候は夏は高温多湿、冬は北西の季節風が特徴
- ・総面積 95.81km²

人口と世帯

- (平成26年10月1日現在)
- ・総人口 46,016人
- ・総世帯数 15,679世帯
- ・人口は減少傾向でピーク時から約1,000人減少
- ・年少人口比率14.7%、高齢化率24.7%で少子高齢化が着実に進行

小城市の特性・資源

特性1

- ・天山から有明海まで、佐賀平野には美しくのどかな田園風景が広がり、ホテル舞う清流や美しい滝、世界で唯一のムツゴロウ、シオマネキ保護区など優れた自然環境、景観を誇ります。

特性2

- ・県央に位置し、長崎自動車道が横断しているほか、幹線道路として国県道が縦横に走り、多方面への交通アクセスに恵まれています。

特性3

- ・貴重な歴史、文化につつまれ、古くから育まれてきた市民の情緒の豊かさや文化意識の高さ、人情味の豊かさ、そしてこれらを背景にした市民活動が盛んです。

特性4

- ・歴史的街並みをはじめ、数多くの有形、無形の文化財や神社仏閣があり、ロマンあふれる歴史、文化のまちといえます。

特性5

- ・古くから第1次産業を中心に発展してきたまちで、農林水産物の特産品をはじめ、これらを生かした加工特産品が数多くあります。

市民ニーズの動向

住民アンケート調査に見る市民ニーズ

- ① 小城市への愛着度
愛着を感じている 39.9% どちらかといえば愛着を感じている 35.8%
どちらかといえば愛着を感じていない 5.2% 愛着を感じていない 1.7%
- ② 日常生活で暮らしにくいと感じるところ
1位 市内で働くことのできるような職場が少ない
2位 道路事情や交通の便が悪い
3位 スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分
- ③ 生活環境で満足しているところ、不満があるところ
満足 1位 日常生活に利用する生活道路網の整備
2位 地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備
3位 学校施設の充実（学校、幼稚園など）
不満 1位 商業の振興（中心商業地域の形成など）
2位 工業の振興（企業誘致や企業の育成など）や雇用の場の確保
3位 公共交通の充実（鉄道・バス路線の整備・便数の増加など）
- ④ これからのまちづくりで力を入れるべきこと
1位 就労の場の拡充 6位 空き家・廃屋対策
2位 若者の定住促進のための施策 7位 道路網の整備
3位 医療体制の充実 8位 公共交通機関の充実
4位 高齢者福祉の充実 9位 下水道・排水処理施設の整備
5位 児童福祉・子育て支援の充実 10位 公園・緑地の整備

小城市の将来像キーワード	
市民アンケート	中学生アンケート
1. 自然	1. 自然
2. 安全	2. 快適
3. 福祉	3. 環境
4. 環境	4. 安全
5. 健康	5. 平和
6. 快適	6. スポーツ
7. 歴史	7. 歴史
8. 医療	8. 文化
9. 教育	9. 国際
10. 産業	10. 温泉

まちづくり市民会議の提言

現状把握（問題抽出）	取り組むべきこと
・自然が多く住みやすいので地価が安定し、移住者が多いが、虫が多く困っている ・田んぼがあり、煙が迷惑 ・店が多いので便利だが、娯楽施設が多いので、防犯等が心配	・バランスのよい土地利用（規制緩和） ・まちなか交流プラザを市民に周知、有効活用する ・奨励金の拡大、空き家の有効活用 ・下水道普及率100% ・リサイクル率№1（燃えるごみゼロ）
・巡回バスはあるが、公共交通の本数が少なく、車のない人たちは不便 ・アクセスが良く、市外へ行くには便利だが、市内を縦断する道路の整備が不十分	・縦断する道路の整備（跨線橋の整備、案内板の改善） ・芦刈からのアクセス（芦刈から小域までの道路整備） ・巡回バス（ニーズ調査、路線の見直し、予約制度、自由乗降等の検討）
・自然が豊かで山から海までであるが、活かしきれていない ・歴史のあるところが多いが、伝統を継承できる人が少なく、PRができていない	・自然環境の保全（水質維持、子どもの体験学習） ・景観の保全 ・PRの強化（市内外への情報発信） ・歴史学習、文化の振興（小中学校での歴史教育、コーディネーターの育成）
・スポーツへの関心は高いが、屋外の無料施設が充実していない ・医療施設や健診は充実しているが、市民の健康に対する関心は低い	・総合スポーツ施設整備 ・福祉センターの活用向上 ・農業による健康増進事業（貸し農園、畑づくりの指導） ・安全に歩ける環境整備（ウォーキング道の整備）
・4町とも福祉センターがあり、介護施設は充実しているが、障害者施設は少なく、特色がない ・高齢者に優しいサービスが充実しているが、PRが足りず、一人暮らしへのサポートも足りない	・民生委員、老人会を中心とした地域連携（ネットワークづくり） ・窓口、補助金の一括化（ワンストップセンター） ・障がい者の環境の充実 ・障がい児の早期発見、早期フォロー、家族への支援
・放課後児童クラブや児童センターが整備されているが、子どもの遊ぶ場所が少ない ・ICT教育が進んでいるが、通学路に歩道がなく、小児科、夜間救急医療が少ない	・人材の掘り起し（教育水準の向上、24時間相談窓口、地域コーディネーター） ・場所のしぼりをなくす（子どもの居場所確保） ・情報提供 ・ファンドレイズによる子育て支援
・産業は多いが企業が少いため、市外へ通勤する人が多い ・一次産業は充実しているが、企業が少なく、誘致できていない	・ブランド化（ニーズに合った商品開発、マーケティング） ・企業誘致（トップセールス、働く場、空間づくり）
・運動会など4町それぞれの地域行事には人が集まるが、各町バラバラで一体感がなく、対外的な話題性がない ・話題性のあるイベントがあれば、スマートICで観光客を呼び込み、商店街の活性化につなげることができる	・国際交流のきっかけづくり（海外に移住した市民との交流、小学校の国際交流） ・コミュニティセンターの充実（出会いの場、地域の特産品でつくった料理を出す） ・市全体のイベント（市内一周スタンプラリー） ・PRの充実（HP、SNS）
・観光資源のPR不足をI♥OGIや広報で補っている ・宿泊施設などが少なく、集客が見込める場所も限られている	・市全体でのイベント（子どもクラブで観光イベント、小域といえば、コレ！というイメージをつくる） ・マスメディアの活用（ソフトバンクホークス、サガン鳥栖とのコラボ）
・青バトなどの地域力で治安は良いが、地域によっては歩道や外灯が少なく、危険性が高い ・排水機場が多く、消防団の活動も活発になってきているが、想定外の気象状況により水害の危険性がある	・自主防災への取組（防災マップ作成、地域リーダーの育成） ・水害対策 ・交通安全（歩道整備） ・防犯対策（防犯灯の設置、見守り活動）

目指す将来像

誇郷幸輝

～みんなの笑顔が輝き 幸せを感じる ふるさと小城市～

政策1 住環境

住みたい！と思う 笑顔が集まるキレイなまち

政策2 交通

安心して みんなが行き交うまち

政策3 自然・歴史・文化

歴史、文化と歩いていく 自然豊かなまち

政策4 健康・スポーツ

みんなが健やかで スポーツに親しめるまち

政策5 高齢者・福祉

みんなでささえあう やさしい福祉のまち

政策6 子育て・教育

子どもが自分らしく 笑顔で育っていけるまち

政策7 産業・雇用

地域の資源を活かし 企業も市民も元気なまち

政策8 地域活性化

幅広い交流を深め にぎわいのあるまち

政策9 観光・広報

市民みんなが観光ガイド！ひとがひとを呼ぶまち

政策10 安全・安心

ひとりひとりの力を合わせて防犯・防災 安心して暮らせるまち